

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ラサールロジポート投資法人（証券コード：3466）

【据置】

長期発行体格付	A A
格付の見通し	安定的
債券格付	A A

■ 格付事由

- ラサール不動産投資顧問をスポンサーとする物流施設特化型の J-REIT。資産運用会社 (AM) はラサール REIT アドバイザーズである。現行ポートフォリオは全 22 物件から成り、取得価格総額 3,776 億円の資産規模。エリア別では東京エリア（JR 東京駅から 60km 圏内）が 59.4%（取得価格ベース）、大阪エリア（JR 大阪駅から 45km 圏内）が 37.9%（同）、その他エリアが 2.6%（同）、規模別では延床面積 100,000 m²以上が 81.0%（同、底地は除く。）を占めている。
- 約 2 年ぶりに公募増資を絡め、23 年 7 月に「ロジポート京都」を含む築浅の 3 物件を取得するなど、テナント分散が進展している。賃貸事業運営についても、スポンサーグループとの強固な協働関係を背景に 23/8 期で 4.52% の NOI 利回り、23 年 11 月末で 99.2% の稼働率、賃料増額改定などの実績も示されている。こうしたトラックレコードやテナント分散が図られている点を考慮すると、引き続き、安定したポートフォリオ運営が継続されると JCR ではみている。また、レバレッジコントロールの状況などからみて、財務の健全性も維持されている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 今後の外部成長について、スポンサー開発物件や匿名組合出資による優先交渉権を取得している物件を含め、現状では 2,700 億円程度のパイプラインを確保している。本投資法人の取得時の目線に沿った形での外部成長の進展や、運用戦略の一つであるバリューアッド戦略の投資手法の多様化（ブリッジファンドへの出資、稼働物件・開発案件への間接投資、戦略的な物件入替など）が本投資法人の成長にどのように寄与するか注目していく。内部成長では、AM によるアクティブ運用の継続展開に基づいた、戦略的設備投資による賃料のアップサイドの取り組みや、レントギャップの縮小などについて引き続きフォローしていく。
- 資産総額ベースの簿価 LTV は、23/8 期末で 42.1% と、AM の想定するレンジでコントロールされている。財務バッファとなるポートフォリオの含み益は、23/8 期末で 817 億円（含み益率：21.7%）を有している。メガバンク 3 行を中心としたレンダーフォーメーションの維持、コミットメントライン（借入限度額 40 億円）の設定による流動性の担保、新規レンダーの参画、サステナビリティへの取り組みも背景とした投資法人債（グリーンボンド）の発行による調達手段の多様化、平均負債残存年数の長期化など、資金調達の安定性にも特段懸念はみられない。

（担当）杉山 成夫・古口 雄介

■ 格付対象

発行体：ラサールロジポート投資法人

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 2 回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）	20 億円	2017 年 2 月 15 日	2027 年 2 月 15 日	0.580%	AA
第 3 回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）	35 億円	2017 年 7 月 13 日	2027 年 7 月 13 日	0.650%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第5回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）	10億円	2017年12月21日	2027年12月21日	0.630%	AA
第6回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	30億円	2020年2月20日	2030年2月20日	0.590%	AA
第7回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	20億円	2021年2月16日	2036年2月15日	0.760%	AA
第8回無担保投資法人債（特定投資法人債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	20億円	2022年2月10日	2028年2月10日	0.250%	AA

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年1月12日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典
主任格付アナリスト：杉山 成夫
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「J-REIT」（2017年7月3日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） ラサールロジポート投資法人
- 本件信用格付の前提・意義・境界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル